

ふれあい 柳河

第63号

発行者
柳河自治住民の会

事務所
柳河市民センター内
水戸市柳河町673-1
電話・FAX 029-231-6559

水戸市の木(梅)



支える手にも思いが入って

多くの笑顔が行き交いました 柳河ふれあいまつり

地域の方々の交流も深まりました



特認校の特色を生かした発表



傘の中に笑顔が

日頃の練習を遺憾なく発揮された発表で盛会裡に

柳河自治住民の会
生涯学習部
部長 宮永 和哉

令和7年11月9日に毎年恒例の柳河ふれあいまつりを開催いたしました。

当日はあいにくのお天気となってしまうましたが、多くの方が各種模擬店に足を運んでくださりありがたいなと感じました。体育館では、柳河小学校の児童の皆さんをはじめ、中学生の皆さん、そして各クラブの方々が日頃の練習を遺憾なく発揮された発表で会場を盛り上げてくださいました。

連日、準備をしてくださいました関係各位の皆さまにも心よりお礼申し上げます。当日、雨により急な変更を要する場面もありましたが、皆さん快く対応してくださいさり、滞りなくまつりを開催することができました。来年も、柳河ふれあいまつりが開催できることを楽しみにしています。

令和7年度
柳河ふれあいまつり開催
 令和7年11月9日(日)
 会場/水戸市立柳河小学校校庭・体育館



たくさん練習したよ



開式前のわくわく

あいにくの雨となつてしまつた今回の柳河ふれあいまつり、模擬店、ステージ発表、作品展示などで交流を深めた一日となりました。



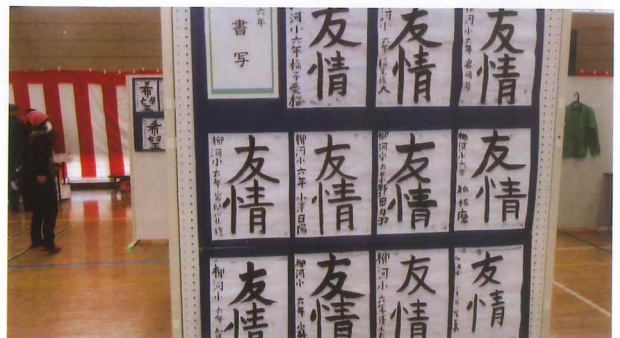
お餅だけは中で販売



一番人気のやきとり



考えたかわいい作品



最後の6年生の作品



寒い時は温かい物で



雨の中ありがとう

第64回 柳河地区市民スポーツ大会



10月19日(日)、柳河小学校校庭において、第64回柳河地区市民スポーツ大会が盛大に開催されました。

笑顔が出る、体に無理なく参加できる競技がたくさんあり、世代を超えてふれあうことができました。参加する方がもっとふえるとよいと思いました。



うれしい予感



わらいを定めて



脱出成功!



ゴールヘダッシュ!!



上手に入れてね



あせらず急いで

今年度も、水戸市消防本部、防災危機管理課、茨城県交通安全協会、その他、関係各位の皆様のご協力のもと、貴重な体験をするこ



シートベルトコンビンサー体験

体育館にて開会式を行い、防災対策の現状について話しを聞いた後、校庭において、シートベルトコンビンサー、消火器による初期消火訓練、AEDを使った心肺蘇生訓練、煙体験等の訓練後、5、6年生と女性防火クラブの方達が作ってくれた非常食の試食を行いました。

令和7年度自主防災訓練が11月22日(土)に柳河小学校で、2年ぶりに開催されました。

柳河地区自主防災訓練



初期消火訓練



煙からの脱出

とができました。2年に1回の訓練ですが、地震や水害は我々の身近にある災害の一つです。身が引き締まる思いでした。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

**女性教養講座移動学習
試食、フルグラトッピング
に手止まらず**

黒沢 則子

12月8日、24名を乗せて宇都宮カルビー清原工場へと出発。工場の近くで黒と黄のツートンカラーの乗物LRTが通過するのが見えた時はバス内、賑やかになりました。

人気商品のかっぱえびせんやフルグラ商品の出来るまでの説明や映像を見ている間も香ばしさが通路中に漂い食べたい気持ち一杯。

製造から箱詰めまで全て自動生産で、最後の検査は重要な部署です。国内最大のシリアル生産工場です。

カルビーの名前の由来はカルシウムの「カル」とビタミンB₁の「ビー」を取ってカルビーと名づけたそうです。一日の配送は全国へ約25万相当になるといふ事です。試食コーナーでは多種類のかっぱえびせん、フルグラ味を楽しみ、おみやげを購入して工場を後にしました。

昼食は絶景な場所での日



本料理を堪能し、益子焼、道の駅に寄り帰路の車中ではお楽しみくじがあり、良い思いでの一日となりました。

**柳河自治住民の会 視察研修会
災害の脅威を体感し
地域の防災力を高める
本所防災館**

小田野 隆之

2月20日、柳河自治住民の会の視察研修会を実施しました。まずは浅草の雷門周辺で自由散策を行い、各自思い思いに仲見世通りを歩いたりお参りをするなど、早春の活気ある街の雰囲気を楽しむ良い時間となりました。

散策の後は、美味しい料理を堪能し、和やかな雰囲気の中で午後の研修に向けて英気を養いました。

午後からは、本日のメインである「本所防災館」を訪れました。特に印象に残ったのは、阪神・淡路大震災、東日本大震災や能登半島地震などでも発生した、座っていることもままならない、最大震度7の地震体験と、息もできないほどの強風と叩きつける雨を全身で浴びる暴風雨体験です。改めて自然災害の恐ろしさを実感しました。

今回の体験を地域の共助に活かし、より安全・安心な町づくりに貢献していきたいと感じた一日でした。



**柳河地区市民歩く会
広大な涸沼湖畔を散策**

飛田 信義

1月17日(土)、柳河地区市民歩く会が開催されました。18名の参加者と一緒に、いこいの村涸沼へ向かうため大型バスで市民センターを出発しました。

目的地2キロ手前にある網掛公園でバスを降り、自然豊かな恵みに育まれた広大な涸沼湖畔を眺めながら堤防沿いを歩きました。

一月半ばでしたが気温は15度くらいあり、会場に着するころには身体が汗ばむ程でした。

お風呂で汗を流し、ゆっくり湯船に浸かりリラックスした後はお待ちかねの昼食です。広大な涸沼を一望しながらの食事は格別で、自然と笑みがこぼれ、話にも花が咲きました。

会場を後にし、ポケットファームどきどきにて買物を楽しむこともでき、大満足の日でした。次回の歩く会も多くの方のご参加をお待ちしております。



豊かな自然の中 足取りも軽く

水戸市民の集い

令和8年2月25日、水戸市民会館ユードムホールで行われた「水戸市民の集い」において、柳河地区から次の方が表彰されました。おめでとうございます。

永年勤続ほう賞

- 廣瀬 裕一
- 後藤 正和
- 玉橋 邦裕
- 水戸市民憲章ほう賞

善行賞

川又 敬子

編集後記

広報紙63号発行にあたり原稿を快諾して下さいました方々に心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございます。

宮永 裕子